

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

高知県 香美市

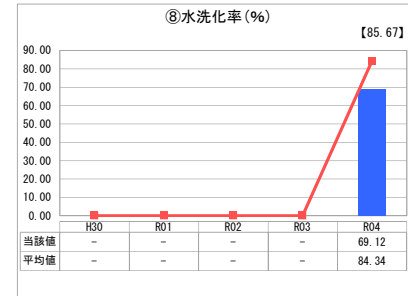
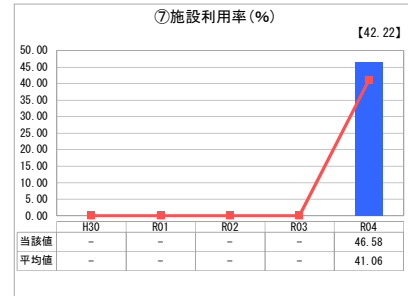
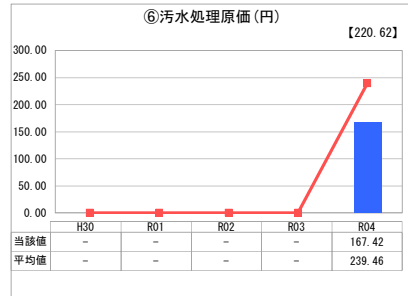
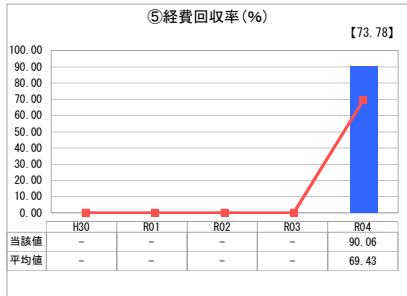
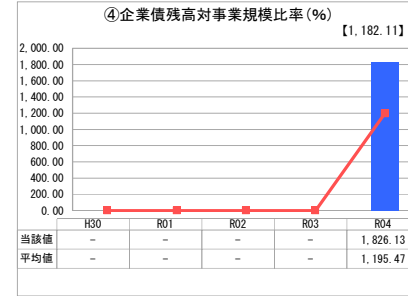
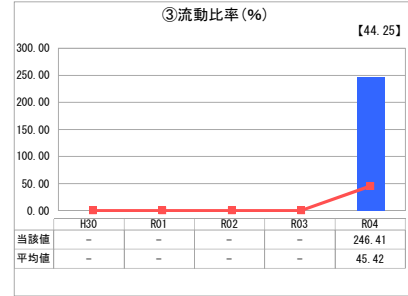
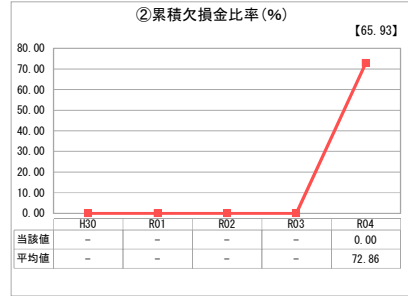
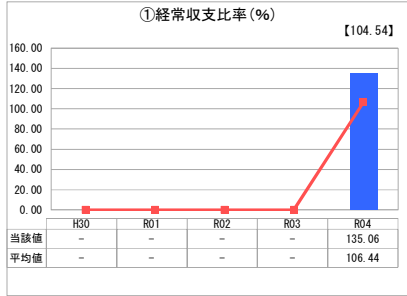
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	77.07	8.93	91.17	2,750

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,381	537.86	47.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,251	1.02	2,206.86

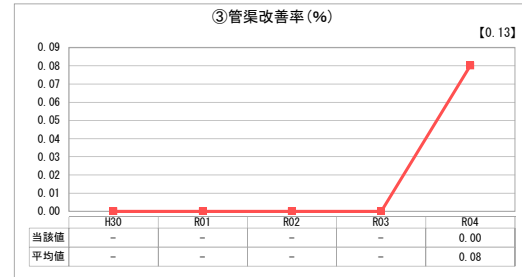
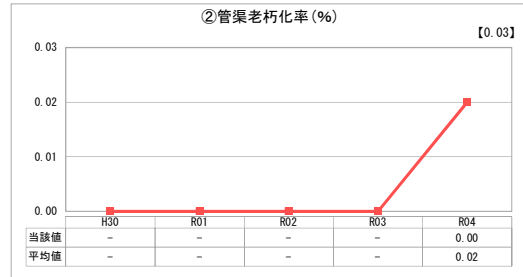
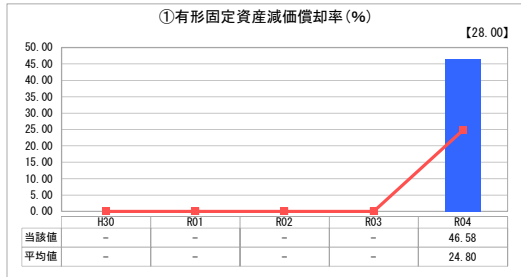
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [ ] 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

④企業債残高対事業規模比率については、地方債償還金は一般会計からの繰入金で賄われており、当事業が負担しているものはない状況です。

⑤経費回収率については、使用料収入で維持管理費を賄っていない為、一般会計からの繰入金に依存しており、健全経営とは言えない状況となっています。

⑥汚水処理原価は、処理場維持管理費の増減により、増減しています。

⑧水洗化率の算出方法を変更したため、水洗化率は下がっています。施設等の整備も完了していることから、今後の飛躍的な上昇は見込めない状況です。

## 2. 老朽化の状況について

平成7年事業開始、平成15年供用開始した比較的新しい施設です。平成25年度に管路や施設の整備は完了しています。また近年、伏流水が原因と推察される洗掘による管渠やマンホール周辺の陥没等が増加していることに加え、不明水の流入によってマンホールポンプや処理施設に負荷が掛かり、機械類の故障や摩耗も増加しています。これらの原因によって維持管理費が増加しているほか、有収率が低調となり、有収水量の適正確保にも支障をきたしております。不明水の対応としては、調査を行い、発見された破損箇所の管渠取替を行っています。また、管路や施設の老朽化対策として、ストックマネジメント計画（維持管理計画）に基づき、計画的に施設の更新・維持管理を行っていく予定です。

## 全体総括

平成25年度に面整備は終了していることから、企業債債務残高が年々減少する傾向にあります。しかしながら、下水道使用料収入の大幅な増加は見込めず、今後の経営は、大変厳しい状況となっており、今後も不明水の発生区域を特定し、対策へ取り組むとともに、接続動契による有収水量の適正確保に努めます。

また、令和3年度から料金改定を実施し、使用水量1m<sup>3</sup>あたり税込33円を増額しました。（ただし、経過措置として、令和3年4月検針分から令和4年3月検針分までは現行の料金で据置き、令和4年4月検針分から令和9年4月検針分までは使用水量1m<sup>3</sup>あたり税込16.5円の増額となります。）今後は、適切な料金収入の確保を図りながら、経営状況の改善に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。